

# 子育ての喜びが見える まちづくりをめざして

市民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。令和2年、南あわじ市は市制15周年の節目の年を迎えます。これまで市政運営に対しご尽力を賜りました全ての方々に深く感謝申し上げます。

今年、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、明るい話題が多い年になる予感がありますが、本市では次の課題に意欲的に取り組む年にしたしたいと思います。

第一は、就任以来進めている高齢者等元気活躍推進事業の拡充です。思いやりポイントによるボランティアに加え、シニアの就労にも選択肢を広げる「働くシニア応援プロジェクト」を展開し、全ての人々が役割を持って活躍でき、困ったときに共助・公助が円滑に機能する地域社会づくりを推進します。

第二は、「学ぶ楽しさ日本二をめざす子育て・教育環境の充実です。人形浄瑠璃を使った表現力教育や、アフタースクール事業を本格化するとともに、各学校が学ぶ楽しさの実

南あわじ市長 守本 憲弘



現に向け、自ら考え、実行する仕組みを構築します。また、4月に開園する「市こども園」では、高度化・多様化する保育・幼児教育ニーズに対応するサービス展開を行います。

第三に、地域の魅力の向上と発信です。次の三点は特記すべきでしょう。一点目は、大鳴門橋自転車道構想の具体化です。兵庫・徳島両県中心に事業が進められますが、市としても「道の駅うずしお」周辺整備を行い、瀬戸内海を囲む大サイクリングロードの実現に寄与します。二点目は、東京2020オリンピック聖火リレーです。5月25日に、西淡中学校前から慶野松原周辺を聖火ランナーが走ります。ぜひ応援に来てください。三点目

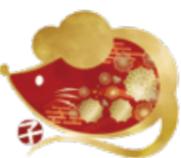
は、松帆銅鑼です。今春、奈良文化財研究所で調査が完了した銅鑼が本市に返還されます。この機に、古代のロマンに思いをはせる新しい事業を展開します。

第四に、安全・安心のまちづくりです。昨年は台風や集中豪雨による大きな災害が各地で発生しました。災害対策は、いざという時に自分の命を守る行動がとれるよう普段から備えることが最も大切です。市としても、南海トラフ巨大地震への備え、河川整備やため池を活用した水害対策を進めるとともに、防災教育や防災訓練の充実を通じて、住民の災害対応力向上に努めます。

第五に、対話と行動の行政の実現です。多様な機会をとらえて地域と対話し、住民の皆さまと緒に地域の未来を考え、市と地域が思いを共有しながら課題解決に取り組む住民主体の市政づくりに重点を置きます。住民対話からの取り組みの一つとして、近年急速に拡大しているイノシシ、ニホンザル等鳥獣被害への対策を強化します。最近、農作物等への被害に加え、街中で遭遇する事例も増えています。個人での防護から地域を挙げた取り組みに移行する必要があります。

# 謹賀新年

## 令和2年



# 市民とともに 協働の南あわじ市をめざして

南あわじ市議会議長 熊田 司



あけましておめでとうございます。皆さまにはご健勝で輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年は温暖化の影響で、大雨や台風による甚大な被害が日本全国で発生しています。災害発生時に議会として、初期の行動基準や災害対策活動の支援、議会の機能維持などを定めた「業務継続計画」を昨年3月に制定しました。7月と11月には議会防災訓練を実施し、災害時の議員の行動を確認するとともに、より実効性のある計画となるように改正を行ってきたところで、今後も検討を加え、災害

時における議会の役割を明確にしていきたいと考えています。本年は東京オリンピック・パラリンピックの開催年です。開催に先立って、5月25日には慶野松原で聖火リレーが行われます。市民の皆さまのご協力をいただいて大成功に終わることを願っています。また、昨年の近畿高校駅伝大会は、宿泊施設をはじめ、市内の商店等に経済効果をもたらしてくれたと聞いています。このよう

な機会を通して、淡路島を訪問してくれる人が増えることを期待しています。一方、市政に目を向けると、本市における人口減少・高齢化問題、農業・水産業の後継者問題、商工業の振興など依然厳しい状態が続いています。昨年開催した議会報告会で、市民の皆さまからいろいろなお意見を聞かせていただきました。ご意見は行政にお届けさせていただきましたが、これからも議会として皆さまの声を集約し、調査研究して行政に政策提言できるように努めてまいります。結びになりますが、市民の皆さまにとりまして、本年が笑顔あふれる実り多き1年になりますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

市としても、専門家による地域の取り組みの支援や、個体の減少に向けた対策に注力します。また、野菜残渣や下水汚泥、生ごみ等を複合的に処理し、発生堆肥等を有効活用するなど、環境に配慮した資源の循環を実現するための計画づくりに着手します。今年の子支は「子」です。ネズミは子孫繁栄の象徴です。

本市も子年にあやかり、子どもたちでにぎわい、笑顔が絶えない「子育ての喜びが見えるまちづくり」を構築すべく、豊かな地域資源を最大限に活かしつつ、市民の皆さまと協働しながら鋭意取り組む所存です。本年が皆さまにとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



- 4月 淡路ファームパーク・イングランドの丘の市民入園料が無料化
- 6月 東京2020オリンピック聖火リレーで慶野松原の通過が決定
- 7月 照強関が南あわじ市ふるさと応援大使に就任
- 8月 渦潮の世界遺産登録をめざしノルウェー視察
- 9月 大鳴門橋自転車道の耐風安定性が確保されることを兵庫県・徳島県が公表
- 10月 高齢者等元気活躍推進事業「働くシニア応援プロジェクト」が開始
- 10月 神戸市と「連携・協力に関する協定」締結
- 11月 大嘗祭に丸山漁港の「献上鯛」を供給
- 11月 近畿高校駅伝大会が南あわじ市で開催
- 12月 アジア国際子ども映画祭が南あわじ市で開催



9月 大鳴門橋の自転車道実現に向け耐風安定性を確認



7月 南あわじ市出身の照強関がふるさと応援大使に就任



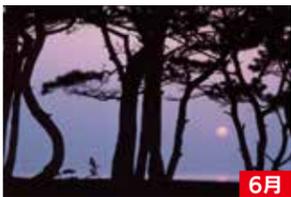
4月 市民入園料が無料になった淡路ファームパーク・イングランドの丘



11月 丸山漁港の「献上鯛」が大嘗祭に供給



8月 ノルウェー・サルトラウメン海峡の渦潮



6月 東京2020オリンピックの聖火リレーが通過する慶野松原